

今月の一言

キーワード：なんでどす？

NHK 連続テレビ小説「あさが来た」が、ヒットしています。ヒロイン・白岡あさが繰り返す口癖が、「なんでどす？」と「びっくりぽん」です。「あさが来た」で、たびたび登場する「なんでどす？」というあさのログセ。凧に身体を括り付けたあさが、木の上からジャンプして地面に転落。「なんでどす？なんでうちはこれ（凧）つけて飛べへんの？」と呆れる母らに問いかけます。また、大好きな相撲をとることを咎められると、「なんでどす？なんでオナゴは相撲とったらあかんの？」とお付きのうめに質問攻め。「凧になれば自分も飛べる。」そう思ったらまず行動してみて、失敗してから原因を考え、次の行動に活かす。

何にでも疑問を持ち、考え抜くあさの特性

当時（幕末）、女性は「三従」（幼にしては父兄に従い、嫁しては夫に従い、老いては子に従う）の考えが当たり前。女性が自らの意志で考え、答えを見つけようとする事、あるいは学問や教養を身につけ自立して生きていこうとする事は「良からぬこと」と考えられていました。女性には意志を持った「人格」が認められていなかったのです。

何にでも疑問を持ち、自分の頭で考えて答えを出そうとするあさの生まれ持った性質は、その後の人生を自らの力で切り拓いていく大きな武器となります。「なんでどす？」のログセは、あさ生来の気質が表れたものなのです。明治の女性実業家として、明治17年炭鉱事業に参画、明治21年加島銀行を設立、明治35年大同生命創業に参画するなど、加島屋は近代的な金融企業として、大阪の有力な財閥となった。

なんで？なんで？なんで？

考えて、自ら行動

2016年1月25日

さいのう とおる

追伸：一年間、各自の目標達成。全員の知恵と行動と総合力で質を上げよう！